

『中国語海外研修』の充実を目指して — 2023年上海外国語大学サマーキャンプの総括—

紅 粉 芳 恵[†]・山 本 晃 輔^{††}

For the Enhancement of Chinese Language Study Abroad Programs:
The 2023 Summer Camp at Shanghai International Studies University

BENIKO Yoshie, YAMAMOTO Kohsuke

Abstract

During the summer of 2023, the language study Summer Camp was recommenced after four years, due to Corona-19, at Shanghai International Studies University. Twelve students from Japan, eleven from Iraq, and seventeen from Spain participated, making it a fruitful two weeks. In this report, the contents of the summer camp are described in three stages: before, during, and after the program. We also reflect on the potential of this summer camp to enhance the “Chinese Language Study Abroad” programs in future years.

Keywords: Overseas training, Cross-cultural experience, Seeing is believing

キーワード：海外研修，異文化体験，百聞不如一見

1. はじめに

2023年8月13日～26日の2週間，2023年度上海外国語大学のサマーキャンプが開催された。コロナ禍の3年間はオンライン夏期研修として実施されていたが，2023年夏，ようやく

[†] 大阪産業大学 国際学部 国際学科 教授

^{††} 法政大学 理工学部 創生科学科 准教授

草稿提出日 2月29日

最終原稿提出日 3月13日

く現地開催の運びとなった。本来であれば、『中国語海外研修』として全学部対象で中国語を1年以上履修している学生が履修できる科目であるが、上海外国語大学からの通知がシラバス公開日までに間に合わなかったため、単位取得科目とせず、国際学部生と大阪産業大学孔子学院受講生の12名の大学生が参加するサマーキャンプとした。

筆者は2017年度から『中国語海外研修』の引率をしているが、コロナ前後で研修を取り巻く環境が変化しているため、今回のサマーキャンプについてサマーキャンプ前、サマーキャンプ中、サマーキャンプ後の3つに分けて記述し、筆者が感じたことや参加学生に対するアンケートを元に、2024年度以降の『中国語海外研修』がより充実したものになるよう総括をしておきたい。

2. 『中国語海外研修』について

本学には総合教育科目の言語文化科目の2年次配当に『××語海外研修』という科目がある。初修外国語を1年以上履修した学生を対象に、事前学習、夏期休暇中の当該国の語学教育機関での研修、事後学習によって2単位を取得できる科目である。

本学は、2007年11月に上海外国語大学をパートナー校として大阪産業大学孔子学院を設立した。大阪産業大学孔子学院は、中国語・中国文化の普及、青少年の交流、大学への貢献を3本柱として運営しており、これにより本学学生は、大阪産業大学孔子学院が提供する授業を無料で受講できる、中国語研修・長期留学は、中外語言交流合作中心 (Center for Language Education and Cooperation) の奨学金を受けられるなど中国語学習において様々なメリットがある。

本学の『中国語海外研修』は、中外語言交流合作中心が世界の大学生・高校生を対象として開催している「漢語橋”外国学生夏令營 (Chinese Language Summer Camp)」というプログラムに、大阪産業大学孔子学院を仲介として、パートナー校である上海外国語大学が実施する語学研修に参加するという形式で開講している。

中外語言交流合作中心が主催校である上海外国語大学に対して各国からの参加学生の中国滞在中の食費・宿舍費・交通費・活動参加費を支援してくれるため、参加学生の実質負担は、航空券代・ビザ代・海外保険代のみとなっている。また、本学が実施する中国語試験と面接に合格した者(5名前後)に対して、大学から奨学金として航空券代・ビザ代が支給されるため、他言語の海外研修と比較すると学生の金銭負担が少ないため、コロナ前は毎年10名前後の学生が参加していた。

3. サマーキャンプ前

3.1 参加条件

コロナ前は、サマーキャンプ参加にあたっての条件はなかったが、今回はHSK 2級以上¹⁾を取得していることとなっていた。今回の参加者はすべて中国語履修者であるが、参加申請までにHSKを受検する時間はなく、表1の参加学生のプロフィールからも分かるように、参加時にHSK 2級以上を取得していない学生が7名いた。これに関しては、上海外国語大学に寛恕いただき、彼らはサマーキャンプ12日目にHSK 2級試験を受検し、

表1. 参加学生のプロフィール

	学部／学年／性別	所属コース	中国渡航歴	参加時のHSK取得級 最新のHSK取得級
学生1	国際学部1年男子 留学生 (Singapore)	コース未配属 中国語4回／週	なし	— HSK 3級
学生2	国際学部1年女子	コース未配属 中国語4回／週	なし	— HSK 3級
学生3	国際学部1年男子	コース未配属 中国語4回／週	4回以上	—
学生4	国際学部1年女子	コース未配属 中国語2回／週	なし	— HSK 2級
学生5	国際学部2年男子	中国語コース	なし	HSK 3級
学生6	国際学部2年男子 留学生 (Korea)	国際コース	なし	—
学生7	国際学部3年男子	英語コース	なし	HSK 3級 HSK 4級
学生8	国際学部3年男子	中国語コース	なし	— HSK 2級
学生9	国際学部4年男子	中国語コース	なし	HSK 4級
学生10	国際学部4年男子	国際コース	なし	— HSK 2級
学生11	経営学部4年女子	大産大孔子学院受講生	4回以上	HSK 4級
学生12	他大学中国語専攻 4年女子	大産大孔子学院受講生	なし	HSK 5級 HSK 6級

1) HSK (漢語水平考試Hanyǔ Shuǐpíng Kǎoshì/Chinese Proficiency Test) は、TOEFL (アメリカ)、IELTS (イギリス)、JLPT (日本)、TOPIK (韓国) など各国政府が認定する言語能力試験と同様である。数字が大きいほど上位級となっている。HSKの詳細は、右のURLを参照。

<https://www.hskj.jp/>

うち5名が合格した。次年度以降もこの条件がある場合、第2外国語の中国語履修者でHSKを受検しようという学生はほばいないと予想されるので、今回と同様に上海外国語大学に配慮をお願いすることになるだろう。

3.2 ビザの取得

中国渡航に関して、コロナ前は2週間以内であれば、ビザは不要であったが、コロナ後はビザなし渡航は不可となっている。旅行会社にビザ申請代行をしてもらうと料金が高いため、今回は手間ではあるが、経験にもなると考えて、各自でビザフォームを入力し、上海外国語大学が発行した短期留学用X2ビザ取得に必要な書類を持参して、中国ビザ申請センター(大阪市中心区)へ申請に行くことにした。入力項目は多岐におよび、途中でエラーが出るなどして、全員が申請フォームを完成させるまでにかかなりの時間を要した。また、2023年夏当時、中国ビザ申請センターは1日の申請数を制限しており、出発前にビザを入手できるのか非常にやきもきした。

報道によると、中国外務省は2024年1月29日、中国を訪れる日本人旅行者に対するビザ免除の再開について、「真剣に」検討を始めたとされるが、次年度以降はコロナ前と同様に2単位取得とするため、現地滞在を3週間に戻すので、ビザ取得が必要である。旅行会社に代理申請を依頼するか、学生自身で申請させるかは、コストパフォーマンスとタイムパフォーマンスを考えて、検討する必要がある。

3.3 アプリのダウンロード

現在、中国での決済は携帯アプリによるモバイル決済が主流となっている。2017~2018年度の研修では、日本円を現地で人民元に交換するという従来からの方式で全く問題はなかったが、2019年度はタクシーを拾うにも携帯アプリ経由となり、飲食店でもモバイル決済のみというところが増えていた。そこで、今回は事前にアプリのダウンロードをしておくことにした。

Alipay(支付宝)とWeChat Pay(微信支付)が中国の二大モバイル決済アプリである。日本でもコンビニやドラッグストアのレジで両者のプレートを見かけることが多くなったかと思う。また、これまで中国の銀行口座を持たない外国人旅行者は、これらアプリの登録が非常に難しかったが、ようやく国際クレジットカードと紐付けられるようになった。

紐付けに成功したと思っていたのだが、現地では、筆者を含めモバイル決済ができない学生が複数いた。そのため、孔子学院からの引率中国人教員に日本円を渡し、その日のレートでAlipayまたはWeChat Payのウォレットに人民元を送金してもらうという方法

で解決した。モバイル決済アプリが使えると、地下鉄に乗るのも、宿舎内のコインランドリーを使うのも、デリバリーを頼むのも、街なかの“共享单车（シェアサイクル）”の利用も携帯一つでできるので、非常に便利である。因みに筆者が2023年12月に中国へ出張した際には、Alipayを問題なく使用することができた。

3.4 Wi-Fi

上海外国語大学では、宿舎内、教室ではWi-Fiを利用できるが、モバイル決済アプリを使用するには、インターネットに接続している必要がある。また、現在の日本人の生活において欠くことができなくなっているFacebook, Google, Instagram, LINE, YouTubeなどは、中国では国策のため使用できない。

参加学生には、海外Wi-Fiルーターをレンタルするか、ルーターを持ち歩く必要がない抜き差し可能なカード型のSIMカード、あるいはスマホ内蔵タイプのe SIMを準備するように指示した。これらがあれば、中国本土でもFacebook, Google, Instagram, LINE, YouTubeは使用できる。また、現地で中国のSIMカードを購入するという方法もあることを紹介した。

現時点では、NTTドコモ系列のahamoが、唯一手続なしで海外データ通信を行える携帯電話サービスである。

3.5 レベル確認テストの受検

コロナ前までは、サマーキャンプ開幕式終了後に簡単な口頭試験を行ってクラス分けをしていたが、今回は事前にネット上でレベル確認テストを受検する方式に変わっていた。選択式であるが、問題数がかなりあり、中国語を学習し始めたばかりの1年生にとっては難しかったと思う。いい加減に解答した学生も多かったようで、実際の中国語レベルとの乖離があり、1日目の授業を受けた後に大幅なクラス変更を行うことになった。

4. サマーキャンプ中

今回のサマーキャンプは、日本からの12名のほか、イラクから11名、スペインから17名、合計40名の大学生が参加した。イラク人参加者の多くは中国語の発音基礎ができていないゼロレベルであったが、スペイン人参加者の中には、小学校低学年から中国語を学び10年以上学習している学生が複数いた。また大学から中国語を学んだという男子学生2名の中国語レベルの高さには驚いた。

サマーキャンプ中は、上海外国語大学の日本語専攻の学生、大学院生がチューターをし

てくれる。参加学生が一番身近で中国語を話せ、行き届いたサポートをしてくれるので、非常にありがたい存在である。

サマーキャンプの日程は表2の通り。

表2. サマーキャンプ日程表

日付	時間	
8/13(日)		関空⇒上海
8/14(月)	午前 午後	開幕式 キャンパス周辺散策
8/15(火)	午前 午後	中国語授業(1) 東方明珠(テレビ塔), 濱江大道の見学
8/16(水)	午前 午後	中国語授業(2) 特別講座(1) 現代都市「上海」の歩み
8/17(木)	午前 午後	中国語授業(3) 豫園/城隍廟の見学
8/18(金)	午前 午後	中国語授業(4) 文化体験授業(1) 面塑(民間工芸)の作成
8/19(土)	終日	杭州観光
8/20(日)		
8/21(月)	午後	特別講座(2) 中国の文化について
8/22(火)	終日	上海市民の生活を体験(太極拳, 餃子作りなど)
8/23(水)	午前 午後	中国語授業(5) 上海立信会計金融学院日本語コース学生との交流会
8/24(木)	午前 午後	文化体験授業(2) 中国箸の作成 HSK 2級試験(一部学生)/グループ発表の準備
8/25(金)	午前	グループ発表/閉幕式
8/26(土)		上海⇒関空

4.1 授業について

学生は、レベル別に初級(日本7名, イラク11名, スペイン5名), 中級(日本2名, スペイン10名), 上級(日本3名, スペイン2名: 上海外国語大学が夏期に開講している一般クラスに参加)の3班に配属された。

表3. 学生の配属クラス

初級クラス	学生2/学生3/学生4/学生5/学生6/学生8/学生10
中級クラス	学生7/学生9
上級クラス	学生1/学生11/学生12

初級クラスと中級クラスのテキストは、上海外国語大学がサマーキャンプ用に作成したものである。テキストは“问好及交流（挨拶と交流）”／“交通（交通）”／“飲食（飲食）”／“集体出行（グループでの外出）”／“购物（買い物）”／“休闲娱乐（レジャーを楽しむ）”の6ユニットで、テキストには文法説明はなく、会話文と置き換え練習、写真付きの単語リストというシンプルな構成になっており、クラスのレベルに応じて担当教員がアレンジする作りになっている。中国人教員は、PowerPointを使用して授業をするのが一般的であるため、スライドで簡単な文法説明を行ってから、テキストの音読、置き換え練習をさせていた。授業中の発音矯正に関しては、ほぼノーチェックで、とにかく中国語らしきものを発していれば良いという感じであった。

筆者は全てのクラスの授業を見学したが、初級は、ゼロスタートのイラク人が全員このクラスだったので、担当教員は英語で授業をしていた。初級クラスに配属された本学の学生は、中国語を勉強し始めて半年未満の1年生3名、HSK3級を取得している中国語コース2年生、中国語コースであるが中国語の資格を取得していない3年生、第2言語で中国語を履修している／していた国際コースの2年生と4年生の7名で、レベル差が大きかった。イラク、スペインの学生の英語レベルは非常に高かったが、本学学生は英語での説明は理解できるが、中国語が分からない者と英語での説明が理解できないため、中国語で言えない者が混在していたので、担当教員にとっては非常に教えにくいクラスだったのではないかと推察する。このクラスに配属された学生がアンケートに書いていたが、初級クラスと中級クラスの間にもう1クラスあれば、授業に対する満足度は上がったかと思われる。

中級クラスは、本学の男子学生2名とスペインの女子学生10名で、メンバーの中国語レベルは揃っており、担当の若手女性教員はクラスコントロールが巧みで、毎回の授業は非常に活気があった。男子2名は最初こそスペイン人女子のパワーにタジタジであったが、彼女らの影響を受けて、積極的に授業に参加していた。

上級クラスは、上海外国語大学が夏期に開講している短期留学生用のクラスに、日本の3名、スペインの2名が配属された。担当は中堅女性教員であったが、PowerPointは使用せず、従来型の教授スタイルで、淡々と授業が進められていた。学生の質問と教員の回答がかみ合っていないことが度々あり、学生はフラストレーションを感じていたのではないかと思った。

4.2 課外活動について

課外活動は上海外国語大学のスタッフがコロナ前から中国の伝統文化（越劇²⁾、中国茶など）を紹介する講座を用意してくれていたが、内容自体が難しすぎる、中国語、あるいは英語での説明が分からないことから、学生が寝てしまうなど、受講態度が悪く、講師に申し訳ない状況が多々発生していた。

今回は、以前からあった太極拳や餃子作りに加えて、面塑³⁾や中国箸の作成といった体験型の活動が増え、学生は中国文化をより身近に感じる事ができたと思う。

またこれまでの研修では本学独自の活動として、2019年度には商社駐在員として長らく香港・上海で仕事をされている筆者の大学の先輩を招いて、中国との商売やご自身の中国語学習などについて講演をしていただいたこともあった。今回は、上海外国語大学の元副学長が上海立信会計金融学院の学長をされているというご縁で、日本語学科の学生と交流する機会に恵まれた。6グループに分かれて、ゲーム・アニメなどエンタメを中心として、同世代の日本語を勉強する中国人と、中国語あるいは日本語で話し合うことができ、予定していた1時間はあっという間に過ぎてしまった。中国人学生が夏期休暇中に開催されるサマーキャンプのため、上海外国語大学ではチューター以外の学生と接触することがほとんどないので、今回の上海立信会計金融学院の学生との交流会は大変有意義なものであった。

5. サマーキャンプ後

サマーキャンプ後については、学生アンケートの分析を行っていく。アンケートの質問を附録として最後に添付しておく。

5.1 中国に対する印象に関して

全員が中国語履修者であるため、渡航前から中国に対して「悪い」印象を持っている学生はいなかったが、それでも30%強が「どちらかと言えば悪い」という印象を持っていた。2週間のサマーキャンプを経て、「どちらかと言えば良い」「良い」に変化したことは、まさに“百聞不如一見”と言えるだろう。しかし、今回の経験は中国のほんの一部を見ただけに過ぎず、「木を見て森を見ず」にならないためにも、学生には引き続き中国に対する

2) 中国の伝統演劇の一つ。主に上海、浙江省、江蘇省、安徽省、福建省、江西省など中国東南部で上演されている。

3) 小麦粉や米粉に顔料などを混ぜて粘土を作り、人物や動物などを形作る民間工芸の一つ。現在はその芸術性が評価され、無形文化遺産となっている。

関心を持ち続けてもらいたいと思う。

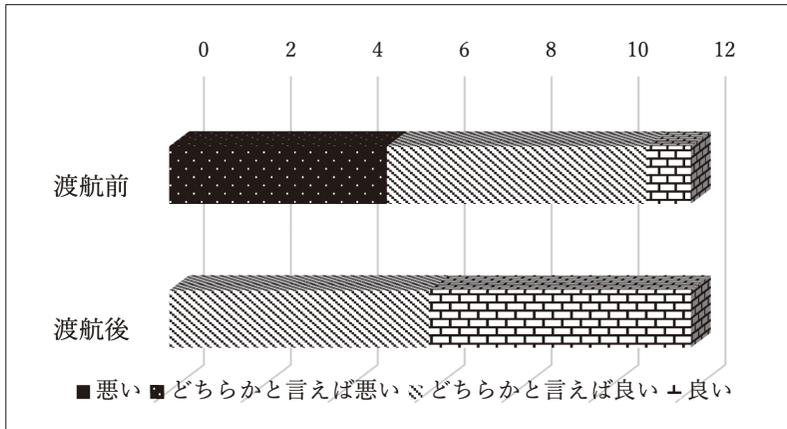


図1. 渡航前後の中国に対する印象

5.2 授業に関して

配属されたクラスについては、「やや満足」が25%、「満足」が75%であった。

質問11の授業中、積極的に中国語で発言できたかの回答は図2の通り。「まったくできなかった」(1名)、「あまりできなかった」(3名)と回答した学生について詳しく見ると、今回の3クラス設定では、配属されたクラスには満足しているが、上級クラスであったため、他の学生のレベルが高く、中国語で積極的に発言することができなかった学生と、初級クラスで英語での説明が分からなかったため、中国語で積極的に発言することができなかった学生がいたと考えられる。

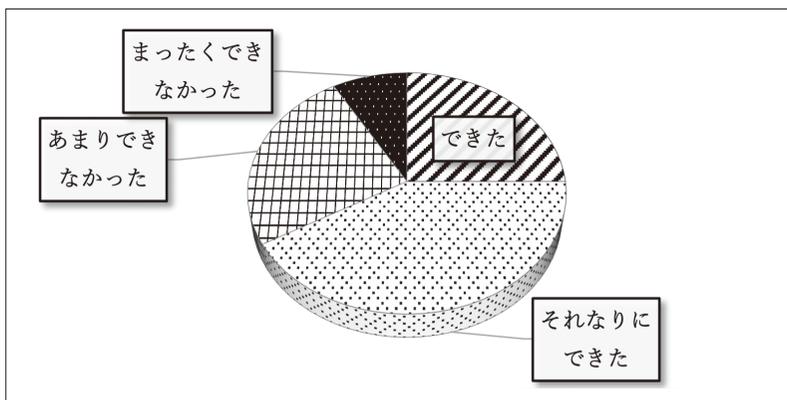


図2. 質問11：授業中、中国語で積極的に発言できたかに対する回答

5.3 課外活動に関して

課外活動に関する質問項目は以下で、各活動に対する満足度は図3の通りである。

- 14-1：【8/15】東方明珠と濱江大道の見学
- 14-2：【8/16】（講座）現代都市「上海」の歩み
- 14-3：【8/17】豫園と城隍廟の見学
- 14-4：【8/18】（文化体験）面塑作り（孫悟空の人形）
- 14-5：【8/19-20】杭州旅行
- 14-6：【8/21】（講座）中国の文化について
- 14-7：【8/22】上海市民の生活体験
- 14-8：【8/23】上海立信会計金融学院の学生との交流会
- 14-9：【8/24】（文化体験）木箸作り
- 14-10：【8/25】グループ発表

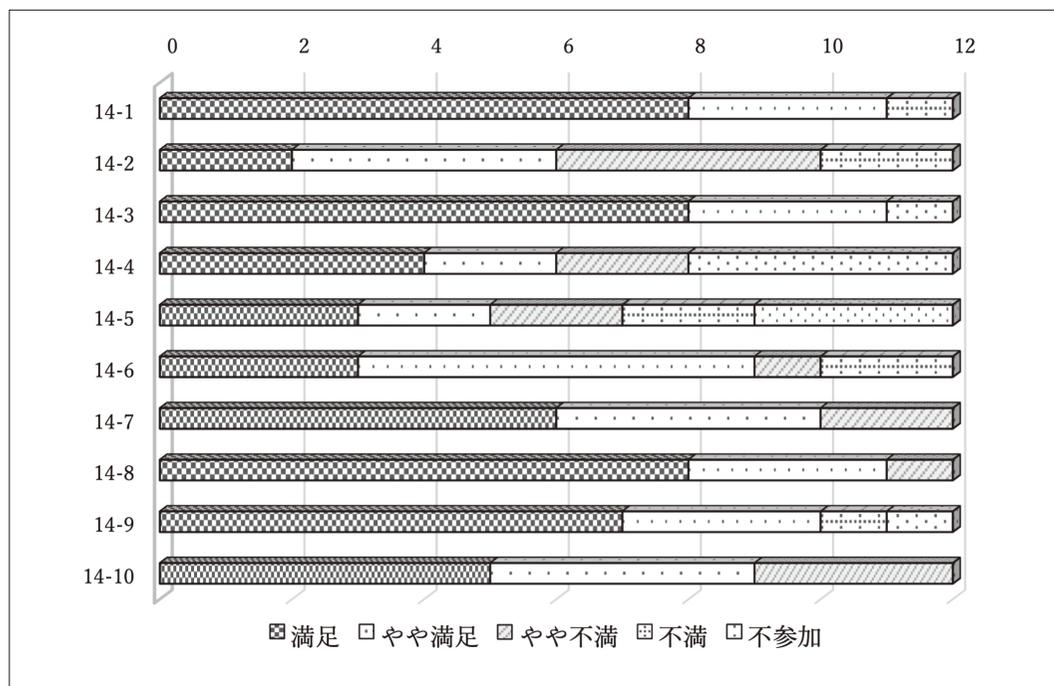


図3. 質問14：課外活動に関する満足度⁴⁾

4) 内訳の「不参加」というのは、サマーキャンプ中に2人がコロナに罹患、環境変化のため体調不良で活動に参加できなかった学生を指す。

予想をしていた通り満足度が高かったのは、上海市内観光(14-1/14-3)、生活体験(14-7)、木箸作成(14-9)などの体験型の活動で、座学はやはり中国語・英語の理解力の問題で、個人によって満足度の差が大きかった。上海立信会計金融学院の学生との交流会(14-8)は、9割が満足しており、大成功の企画であったと思う。

グループ発表(14-10)は、サマーキャンプの総括とも言うべきもので、日本2グループ、イラク2グループ、スペイン3グループに分かれて2週間で経験したことをPowerPointにまとめ、1人ずつ中国語でスピーチをし、内容が優秀であったグループを表彰する。12日目の午後の時間を使って短時間でPowerPointと中国語の文章を作成しなければならなかったが、達成感を得ることができたのか満足度は高かった。

5.4 感想

質問16：今回のサマーキャンプを3つの言葉で表すと……の回答は表4の通りである。一部、意味不明の回答があるが、その多くがプラスイメージの言葉であることから、参加学生にとっては印象深い経験となったと言えるのではないだろうか。

学生8は、「漢語(=中国語)」「英語」「友好」の3つを上げているが、イラクの学生も、スペインの学生も自分と同じく第2言語である英語を何の不自由もなく使いこなしていることに驚き、言葉の重要性に気づいたのだろう。

表4. 質問16：今回のサマーキャンプを3つの言葉で表すと……の回答

学生1	自由	学び	文化
学生2	楽	労	暑
学生3	修	行	旅
学生4	経験	挑戦	向上
学生5	学習	交流	食
学生6	追憶	学び	努力
学生7	成長	交流	充実
学生8	漢語	英語	友好
学生9	新鮮	満足	経験
学生10	知る	感じる	経験価
学生11	未知	経験	文化の違い
学生12	刺激	友情	モチベーション

また、質問17：後輩にサマーキャンプを勧めるかどうかについては、6割の学生が勧めたいと回答していた。

質問18は、今回のサマーキャンプ全体を通しての感想である。分析については、テキスト

ト型（文章型）データを数量的・統計的に分析するためのソフトウェアであるKH Coder 3を用いてテキストマイニングを行った（樋口2020）。最初に、「行く」、「思う」などの直接的に解釈に関係のない語を除外語として設定した。形態素解析ソフトである「茶筌」を用いて複合語の検出を行った。その結果、総抽出語は668語であり、そのうち分析対象となったのは260語であった。記事内容の全体像を把握する方法の1つとして、本報告では共起ネットワーク分析を行った。共起ネットワークとは、出現パターンの似通った語、すなわち共起の程度が強い語同士を線で結んだネットワークとして描き、語と語が互いにどのように結びついているのかを視覚化したものである。図における円の大きさは出現回数の多さを示し、出現回数が多いほど図は大きく描かれる。本報告での結果を図4に示す。ここでは、色分けされている7つのグループを中心に解釈を行っていきたい。まず「学生」、「増える」から構成されるグループを「01物価の上昇」と命名した（例：以前と比べて高いお店が増えていたので、学生には厳しい状況であった）。「中国語学習」、「勉強」、「モチベーション」などから構成されるグループを「02中国語学習へのモチベーションの向上」と命名した（例：サマーキャンプに参加することは自身の中国語学習のモチベーション向上につながった）。「中国人」、「たくさん」から構成されるグループを「03中国人の印象」と命名した（例：すごく優しくしてくれた中国人がたくさんいて感動した）。

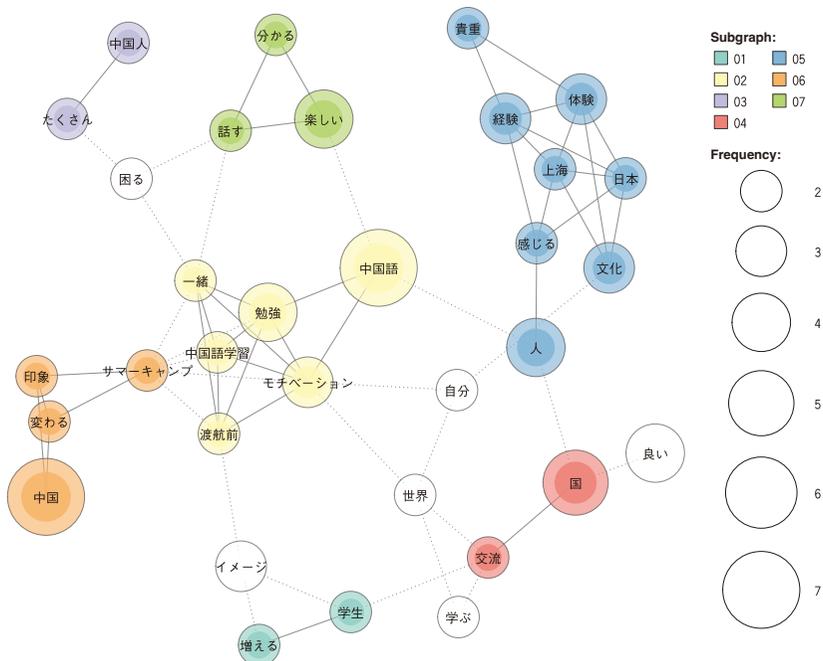


図4. 質問18：感想文の共起ネットワーク分析結果

「国」, 「交流」から構成されるグループを「04交流の拡がり」と命名した（例：様々な国の学生と交流ができて良かった）。「文化」, 「経験」, 「体験」, 「上海」, 「日本」, 「感じる」などから構成されるグループを「05異文化体験」と命名した（例：日本では経験したことがない値切り交渉や上海の文化を体験できた）。「中国」, 「印象」, 「変わる」, 「サマーキャンプ」から構成されるグループを「06中国に対する印象の変化」と命名した（例：サマーキャンプで中国への印象が良い方向に変わった）。「話す」, 「分かる」, 「楽しい」から構成されるグループを「07理解できたことへの喜び」と命名した（例：何を話しているのかが分かる楽しさがあった）。

6. おわりに

『×語海外研修』は語学学習が主たる目的であるが、数週間の現地滞在で語学のレベルアップができるわけではない。筆者は、海外に出て行くことによって、自分がこれまで慣れ親しんできた文化や価値観とは異なるモノや人との接触、交流によりマインドセットを行い、今後の人生の選択肢を拡げることが目的だと考える。

筆者は、大学で中国語を専攻し、初めての海外旅行が大学2年生夏の上海、復旦大学への1ヶ月半の短期留学であった。上海での日々は非常に刺激的で、もっと中国語が上手くなりたいという原動力となり、今日に至っている。昨今は内向的な学生が増えて、外の世界を知ることの楽しさを説いても、なかなか理解してもらえないのだが、チャンスの前髪を掴むために、是非、海外に出て行ってもらいたいと思う。

2024年最新の世界GDPランキングでは中国が2位、日本は4位に転落し、世界における中国の存在感が増している。日中関係は今後も両国民が嫌中、反日という感情を持ったまま進んでいくと思われるが、だからこそ、両国の若い世代が、現地を訪れ、五感で現地のリアルを体験する必要がある。そのための一助として『中国語海外研修』があり、今後も上海外国語大学のスタッフと共に、より充実したプログラムを実施していきたいと考える。

引用文献

樋口耕一（2020）『社会学調査のための計量テキスト分析－内容分析の継承と発展を目指して 第2版－』ナカニシヤ出版

附録

上海外国語大学サマーキャンプ2023に関する調査

本調査は、2023年8月13日～26日に開催された上海外国語大学サマーキャンプに参加した学生に対して実施するものです。その目的は、今後の中国語海外研修の内容をより魅力的に、充実したものにすべく、参加者の率直な感想・要望を得るためです。本アンケートで得られたデータを元に事前研修⇒現地研修⇒事後研修のより良い連環を構築し、主催校である上海外国語大学のスタッフとも情報を共有することで研修内容をブラッシュアップしていきます。すべての項目は統計的に処理され、個人が特定されることは一切ありません。また、個人情報の取り扱いには最大限に配慮します。分析結果については、今後学会発表や論文化される可能性があります。基本的にはすべてにお答え頂くこととなっておりますが、もし途中で中断、あるいは放棄したくなった場合にはいつでも中止して頂くことが可能です。アンケートを途中で放棄された場合、それまでのデータは当方に送信されず、保持できない仕様になっております。参加に同意頂ける場合のみ、以下の回答にご協力ください。どうぞよろしくお願い致します。

大阪産業大学国際学部 紅粉芳恵／山本晃輔

- (1) 氏名
- (2) あなたの学年は？
1年生 2年生 3年生 4年生
- (3) あなたは……
中国語専攻者 第2外国語履修者
- (4) あなたの中国語学習年数は？
1年未満 2年未満 3年未満 4年未満 その他
- (5) あなたが取得している中国語の資格は？（複数回答可）
HSK 2級 HSK 3級 HSK 4級 HSK 5級
HSKK初級 HSKK中級 HSKK高級
中検 4級 中検 3級 中検 2級 中検準 1級
- (6) 中国への渡航回数は？
今回が初めて 2回目 3回目 4回以上

中国に対する印象について

中国に行く前と行ってからの印象について、以下の1～4までの数字のうち、もっとも適切なものを1つ選んでください。

- (7) 行く前は……
1. 悪い印象
 2. どちらかと言えば悪い印象
 3. どちらかと言えば良い印象
 4. 良い印象
- (8) 行ってからは……
1. 悪い印象
 2. どちらかと言えば悪い印象
 3. どちらかと言えば良い印象
 4. 良い印象
- (9) 日本と中国の違いを感じたのはどのような点ですか？

中国語の授業に関して

- (10) あなたが配属されたクラスのレベルについて、以下の1～4までの数字のうち、もっとも適切なものを1つ選んでください。
1. 不満
 2. やや不満
 3. やや満足
 4. 満足
- (11) 授業中、中国語で積極的に発言できたかどうか、以下の1～4までの数字のうち、もっとも適切なものを1つ選んでください。
1. まったくできなかった
 2. あまりできなかった
 3. それなりにできた
 4. できた
- (12) 今回はイラク・スペインの学生と共に勉強しましたが、あなたと彼らの中国・中国語学習に対する考え方の違いを具体的に書いてください。
- (13) 中国語の授業に対する感想・要望を書いてください。

授業以外のイベントに関して

下記のイベントについてどのように感じましたか？以下の1～5までの数字のうち、もっとも適切なものを1つ選んでください。

- (14-1) 【8/15】東方明珠と濱江大道の見学
1. 不参加
 2. 不満
 3. やや不満
 4. やや満足
 5. 満足
- (14-2) 【8/16】(講座)現代都市「上海」の歩み
1. 不参加
 2. 不満
 3. やや不満
 4. やや満足
 5. 満足
- (14-3) 【8/17】豫園と城隍廟の見学
1. 不参加
 2. 不満
 3. やや不満
 4. やや満足
 5. 満足

- (14)-4 【8/18】(文化体験)面塑作り(孫悟空の人形)
1. 不参加 2. 不満 3. やや不満 4. やや満足 5. 満足
- (14)-5 【8/19-20】杭州旅行
1. 不参加 2. 不満 3. やや不満 4. やや満足 5. 満足
- (14)-6 【8/21】(講座)中国の文化について
1. 不参加 2. 不満 3. やや不満 4. やや満足 5. 満足
- (14)-7 【8/22】上海市民の生活体験
1. 不参加 2. 不満 3. やや不満 4. やや満足 5. 満足
- (14)-8 【8/23】上海立信会計金融学院の学生との交流会
1. 不参加 2. 不満 3. やや不満 4. やや満足 5. 満足
- (14)-9 【8/24】(文化体験)木箸作り
1. 不参加 2. 不満 3. やや不満 4. やや満足 5. 満足
- (14)-10 【8/25】グループ発表
1. 不参加 2. 不満 3. やや不満 4. やや満足 5. 満足
- (15) 上記で一番印象に残ったイベントとその理由を書いてください。

最後に

- (16) 今回のサマーキャンプを3つの言葉で表すと……
- (17) 後輩にサマーキャンプを勧めるかどうか、以下の1～4までの数字のうち、もっとも適切なものを1つ選んでください。
1. 勧めない 2. あまり勧めない 3. やや勧めたい 4. 勧めたい
- (18) 今回のサマーキャンプに参加しての感想は?(渡航前後での自分の変化などがあれば、是非書いてください)